

みなみのまかひ

2023
(令和5年)
11月1日
No. 64

フラダンス教室

南伊勢町議会だより

主な内容

9月定例会	P 2
一般質問	P 4
つづやき広場	P11
委員会活動報告	P12
議員規程研修報告	P13
みんなでやっとなるで〜ほか	P14

重点事業と注目ポイント

9月12日から14日までの日程で、令和5年度第3回南伊勢町議会定例会が開催されました。補正予算案7件、条例案4件、教育に関する請願4件、その他議案6件、財政健全化法に基づく報告2件、その他報告4件、教育長及び教育委員会委員の任命についての同意案2件、発議4件が提案され、すべて原案通り可決・承認されました。また、令和4年度の決算認定8件については、各常任委員会に付託されました。一般質問では、議員6名が質問を行いました。

議案第58号 令和5年度南伊勢町一般会計補正予算（第5号）

道の崩落



台風7号により被害のあった各地域の道路・河川の復旧工事費が計上されました。

災害復旧工事

6500万円

議案第58号 令和5年度南伊勢町一般会計補正予算（第5号）

LED化でさらに明るく



宿田曾体育館屋根・防水等改修工事、南海体育館武道場室内壁他改修工事、また両体育館の照明LED化改修工事が行われます。

体育施設改修工事

1446万円

町を守る消防団



消防団員の

定員が改正

消防団員の転出や高齢化等により実団員数が減少したことに伴い、改正前610名から470名に条例の一部が改正されました。

令和4年度

決算認定を委員会付託

決算内容をより深く専門的に議論するために各常任委員会で審査を行います。
第4回定例会にて各委員長より審査報告が行われる予定です。

- ▼令和4年度南伊勢町一般会計歳入歳出決算
- ▼令和4年度南伊勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- ▼令和4年度南伊勢町介護保険特別会計歳入歳出決算
- ▼令和4年度南伊勢町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ▼令和4年度南伊勢町公共浄化槽事業特別会計歳入歳出決算
- ▼令和4年度南伊勢町下水道事業特別会計歳入歳出決算
- ▼令和4年度南伊勢町水道事業会計決算
- ▼令和4年度南伊勢町病院事業会計決算



宝くじ
公式サイト

宝くじがネットで購入できる!

宝くじの収益金は、明るく住みよいまちづくりに使われます

宝くじ公式サイト | Q



お問い合わせ先

宝くじコールセンター

TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料)

TEL 011-330-0777 (有料)

あなたの声を市政に!!

一般質問



議員の Question 行政の Answer

一般質問は、町民の声や議員自身の考えをもとに、町の行政・財政の全般にわたり、執行機関に対して疑問点をだし、将来に対する政策方針などを問うものです。

質問議員	質問事項	ページ
岡 本 眞	① 防災について	5
岡 田 和 夫	① 第4次総合計画における人口増の根拠とその実現性について ② 若者に定住してもらうための対策について ③ 人口減少と高齢化が進む南伊勢町での介護支援について	6
山 本 克 彦	① 人口減少対策について	7
河 村 健 志	① 防災対策について	8
倉 田 育	① 物価高騰による各公共事業への影響は ② ポイ捨て・ゴミの不法投棄に対する新たな取組を	9
松 葉 和 久	① 一般廃棄物（可燃ごみ）・資源ごみの処理について	10

9月定例会における傍聴者の総数

3名（内 メディア関係者数 1名）

議会を傍聴しませんか

次回定例議会(予定)

**12月
議会**

12月5日～12月11日

傍聴の受付は議会事務局まで。

皆様の傍聴をおまちしています。

議会に関するご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

TEL 0599-66-1781 FAX 0599-66-2164

一般質問の質問事項・内容は、議会広報特別委員会で会議録に基づいて編集、要約しています。詳細は、議会事務局に、お問い合わせください。

三重県町村議会
自治功労者表彰



町村議会議員として
満21年以上在職

松 葉 和 久 議員

町村議会議員として
満13年以上在職

田 中 喜 一 郎 議員
掛 橋 靖 議員

3名の議員が三重県町村
議会議長会から表彰されま
した。



おか もと まこと
岡 本 眞 議員

防災意識の向上は

町長 普段から身に着けて

おくべきもの

Q

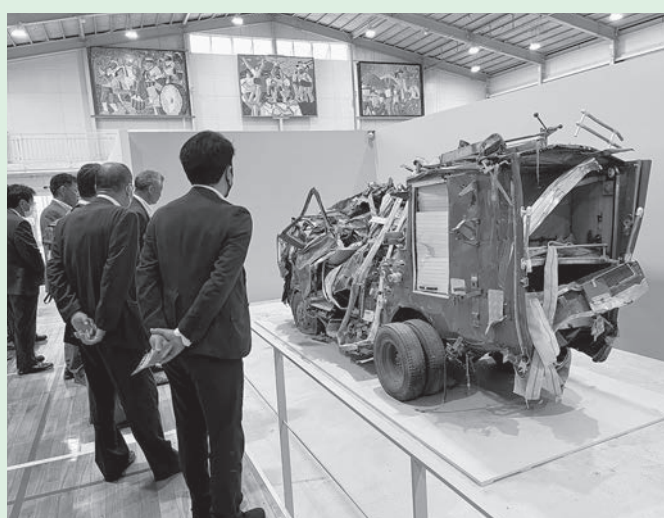
宮城県石巻市と女川町への視察に参加して、防災への取組についてたくさん学びを得ることができた。

本町の防災意識の向上と防災対策は。

A

町長 毎年のように地震や台風、大雨など自然災害の発生により日本各地が被害にあっている。

そして、災害発生時に自分や家族の身を守ってくれるのが、それまで習得していた防災知識である。防災知識は災害が起きた後にあ



津波の威力

らためて学ぶものではなく、普段から身に着けておくべきもの。

しかしながら、現状は「防災意識が高く普段から準備している」という人は多くはない。

防災イベントは参加するだけで今できる備えや防災知識を学ぶことができる。

防災イベントでさまざまな防災体験をすることで防災意識を気軽に習得でき、

日頃の防災対策を見直すきっかけになる。

防災イベントは他のイベントとは異なり、ただ楽しむだけのものではなく、命を守る行動など災害時に必要な知識を学ぶもの。

今後も、年一回の防災訓練だけでなく、イベントや各地区での防災講座など積極的に取り組み、町民のみなさまへ防災知識の普及と防災意識の啓発を進めていく。



門脇小学校（震災遺構）



女川町の復興！！

人口目標の実現は

町長 5つの基本的な考えのもと



おか だ かず お 夫 議員



まちの宝(へっぺ)

Q

2045年には、町人口が3892

人となるというデータがある一方、町の第4次総合計画では、目指す人口を4997人としている。

1100人の差があるが、町は目標をどのように実現していくのか。

A

町長 町の人口シミュレーション

は、国立社会保障・人口問題研究所の推計をもとにしているが、「自然減の抑制」

として、合計特殊出生率を2030年までに1.80まで回復、かつ「社会減の抑制」として、増加させる人口を設定しており、いわば、「自然減対策」「社会減対策」を町がこれから進めていった場合に人口にどのような影響があるかを試算したものである。

そして、今回このシミュレーションをもとに、総合計画において施策の方向性を出しており、「子どもに継がせたいと思える稼げる仕事があるまちをつくる」「子どもたちの健やかな育ちと子育て世代を町ぐるみで全力で応援するまちをつくる」など、まちづくりの5つの基本的な考え方のものと、取組を推進することが人口目標の実現につながる

若者定住対策は

町長 着実に進める

Q

町内出身の若者の定住を図るには、

子育て支援対策とともに、働ける職場を見つけることが重要であると思う。

町内外の企業に町出身の若者を雇用してもらえようという広く手を打つべきではないか。

A

町長 若者が働ける職場を見つける

ことができるよう、三重県南部の16市町が連携して、県外の就活生のUターン就



受け継がれていく

職や、地元就職の支援を目的とした就活マッチング支援サイト「南三重就活ナビ」を立ち上げている。

また、観光商工課においては、就職相談窓口を設置しており、ハローワークのインターネットサービスを活用した求人情報の提供も行っている。

現在、取り組んでいる仕事、子育て、安全安心、教育、住まい環境、コミュニティなど様々な取組を着実に進めることこそが若者定住につながる施策と考えている。

現在と今後の対策は

町長 維持と代替策と見直しを

Q

日本全体が人口減少であるから当町

も人口が減ることは当然だと思っているが、大変な状況になると心配している。人口減少により小売りや飲食、生活関連のサービスの縮小、公共交通の撤退や縮小、地域コミュニティの機能低下、税収減少により行政サービスの機能低下などが起こると考える。

当町の人口減少社会の現在の対策と今後の対策は。

A

町長 地域の商店、

店舗の維持充実対

策として、昨年度に移動販売車の購入支援を実施した。また、地域の商店、店舗へのアクセス向上対策として

お迎えバス実証運行を行う

など町営バス、デマンドバ

スの利便性向上に取り組んでおり、今後も各集落の状況に応じた交通アクセス対策に取り組んでいく。



やまもと かつ ひこ
山本 克彦 議員



元気で楽しい毎日



おもしろい町

生活関連サービスに関しては、介護人材の確保が課題であるが介護人材の育成や町外からの人材募集に取り組む。DXなども活用した業務の効率化支援に取り組む。

地域コミュニティへの対策については、今年度からは概ね旧村単位での検討を推進していく。町内の一部地域では、多様な関係者が連携して複数の集落による協議会を設立し、地域資源の活用など、各事業を実施するような仕組みを構築している。今後はこのような取組を町内へ広げ、国の集落支援員制度や補助金など

も活用しながら必要な対策を進めていく。

行政サービスへの対策としては、人口減少に見合った行政規模に見直す必要がある。そのため昨年度は、出張所の機能を郵便局に委託し、統合を進めた。また、投票所を統合する一方で、移動期日前投票所を設置しサービスの維持に努めている。今後も、住民サービスの維持や代替策を検討しながら、自治体DXなどの動きも取り入れつつ行政効率を高め、人口減少に対応していく。

※DX：デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術で社会や組織、ビジネスの仕組みそのものを変革し、人々の生活をより良いものにしていくこと。

一次避難は

町長 改良、機能強化を



かわむらたけし 河村健志 議員

Q

多くの避難場所は
急な山道に登るの
で、選定当初から高齢者の
避難は危惧されている。当
町は年々、高齢化率が高く
なってきたが、一次避
難についての考え方、並び
に、現状と課題は。

A

町長 当町では、
南海トラフ地震が

発生した場合、最大震度7、
陸上浸水は約15分程度と発
表されていることから、各
地区に津波から生命を守る
場所として、20mの高さを
目安に、当時の区長や地権
者の同意のもと、避難場所
を決定し整備してきた。ま
た、地理的条件により、避
難に時間がかかる地域には、
津波避難タワーの整備を
した。

一次避難場所における草
刈などの維持管理について
は、地区にお願いしている
が、高齢化が著しい地域で



安全な高台へ避難

は維持管理も難しくなっ
ている。また、どの避難場所・
避難道も整備してから十数
年経過しているため、施設
の老朽化や住民の高齢化に
より、地域のニーズに合わ
ないなど、地区から多く要
望がある。

今、直面する課題は、「そ
の避難道は使えるのか」と
いうことである。この課題
解決に向けて、改めて、町
がやることを整理したい。

地区でも、一次避難場所
にある備蓄倉庫に個人の非
常持出袋を入れて、手ぶら
で避難できるよう工夫した
り、ある地区では避難困難
者の玄関に担架を置くなど
様々な取組がある。

また、災害時の避難は、
徒歩が原則だが、一つの選



くら 田 いく 育 議員

物価高騰の影響は

町長 対策を講じていく

Q 物価高騰に対して、公共事業のコスト増加や資材供給の制約を引き起こす可能性が高くなり、事業の予算超過や遅れが懸念される。各事業について、すでに影響がでている部分と、今後影響がでると予想されることは。

A 町長 影響がでている事業として、

工事や業務委託などは、予算を増額し、適切な事業の発注に努めている。資機材の種類により、価格や納期に落ち着きを取り戻しているものもあるが、横ばいか上昇傾向で推移しており、石油価格の影響を受ける燃料や加工・製造品は引き続き、

き、今後の動向を注視する。今後、影響が考えられる事業には、維持管理事業や複数年にわたる事業である施設移転事業などがある。しかし、施設移転事業は早期実現が最大の効果を発揮すると思うので、社会情勢の動向を踏まえ、財政面での対策を講じながら実現に向け、進めていきたい。



安全第一で…

不法投棄、ポイ捨ては

町長 犯罪です

Q 現在、ゴミ拾い等の清掃を行うクリーンアップ作戦が実施されている。不法投棄やポイ捨てを減らすための新たな取組が必要である。他の市町では、ゴミ箱の設置・罰則の強化・リサイクル施設の拡充等、独自の取組を行っているが、当町の考えは。

A 町長 対策としては、「南伊勢町ま

ちを美しくする条例」に基づき、警告看板や監視カメラの設置、巡回パトロール



空き缶はゴミ箱へ！

等を行っている。不法投棄の通報件数は、令和4年度16件であり、住民からの早い通報により県や警察と協力し、現場調査を行い、原因者を特定し、警察による撤去の指導を行っている。また、土地所有者と役場が協力し、不法投棄された物を撤去し綺麗な場所に戻し、監視カメラや看板を設置し、不法投棄されにくい環境整備を行い、住民の目が届く対策が有効で、効果が上がっている。ポイ捨てや不法投棄は犯罪であり、法や条例により罰則が定められている。

ゴミ処理の現状は

町長 安定した業務が継続



まつば かず ひさ
松 葉 和 久 議員

Q

毎年、クリーンセンターなんとうの焼却施設の炉の修繕費が増加する中、鳥羽志勢広域連合への再加入を申し入れ、連合の理解を得て再加入が認められた。令和5年4月から約半年経つが、現在の状況は。

A

町長 クリーンセンターなんとうは、

平成10年4月の供用開始より25年が経過し、老朽化が激しく必要な修繕を行ってきたが、その費用は年々増加する一方であった。就任直後、今までの処理計画を一旦立ち止まり、最善な処理方法を検討した。ゴミ処理施設を考えていく中で、施設の新設に係る経費が過大することに加え、ゴミを焼却するだけの施設では環境に負荷が大きすぎるため、できる限り、資源として活用していくことや、町が単

独で清掃施設を維持することは将来的な人口減少に伴い、施設維持の課題に必ず直面すること、また、町民の皆様が今までと変わらず、ゴミ処理を行えることを最優先に検討を重ね、広域連携によるゴミ処理が最善であると考え、令和4年9月20日に鳥羽志勢広域連合に加入の検討協議の申し入れを行った。

鳥羽市、志摩市、連合議会、南伊勢町の12月議会において、全議員の賛成により加入が可決され、今年4月1日より鳥羽志勢広域連合において、ゴミ処理が行われるようになった。加入から半年が経過したが、大きな混乱はなく、収集職員の努力により、運搬業務も問題なく実施されており、現在、安定した業務が継続されている。

クリーンセンターなんとう



やまだエコセンター
(鳥羽志勢広域連合)

みんなの声

つぶやき広場



新聞への 折り込みチラシですが

新聞をとっていないので、町の広告を見ることができません。

地区の回覧板で、まわして、読めるようにしてください。

お願いします。

(60代女性)



綺麗な公共スペースを つくってほしい

最近、三重県内でお洒落で綺麗な施設が色々とオープンやリニューアルしています。

町内でも町民や観光客がゆっくり楽しめる綺麗な施設がほしい。

若い人にも愛される活気のあるまちを目指してほしいです。

(30代女性)



お店屋さん

南伊勢はだんだんとお店屋さんがなくなってしまうです。時代の流れとはいえ寂しいですね。

(50代女性)



猿と鹿

ここ最近、南伊勢町各地で猿や鹿が頻繁に目撃されますな。これも異常気象と関係あるのかな～。

以前やと人が来るとすぐに逃げたけど最近はこちらをみて堂々と道路を歩いとる。子どもや高齢者に被害がでやへんか心配や。

(60代男性)



詐欺？

友達が外国から携帯に知らない電話がかかってきたと言ってました。

私にも、携帯にアメリカ合衆国の表示がでてかかってきました。

取らなかったけど、正解ですよ～

(60代女性)

あなたもつぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です(^^) みんなでつぶやきましょう。

〒516-0194 南伊勢町五ヶ所浦3057 議会事務局 宛 FAX 0599-66-2164

◆ 委員会活動報告 ◆

～より良いまちづくりのために、調査・研究、
そして、現地視察などの活動を積極的に実践しています～

総務建設常任委員会

町の財政・産業・建設・防災・上下水道・まちづくりなどについて調査や審査を担当しています。

活動報告

◆ 7月19日

調査事項

● 防災安全課所管

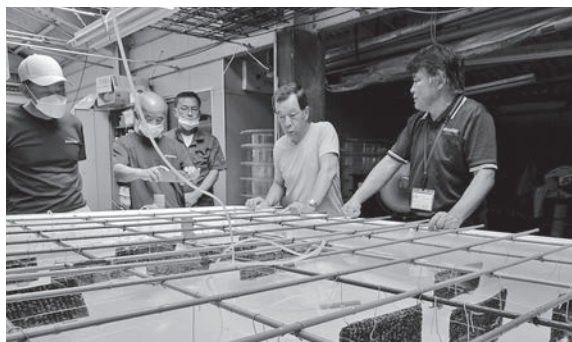
5月に現地視察を行ったことを踏まえ、一次避難道及び一次避難場所について調査しました。

◆ 9月20日

調査事項

● 水産農林課所管

南伊勢町南島種苗センター視察
アコヤ稚貝種苗生産について調査しました。



委員会 組織構成

委員長 河村 健志

副委員長 田岡 悟

委員 岡田 和夫

松葉 和久

東 伊久雄

山本 克彦

教育民生常任委員会

教育・子育て・福祉・医療・生活・環境衛生・健康保険・介護保険・町税などの調査や審査を担当しています。

活動報告

◆ 7月24日

調査事項

● 高齢者支援課所管

令和5年度事業について

◆ 8月21日

調査事項

● 請願について

◆ 9月25日

調査事項

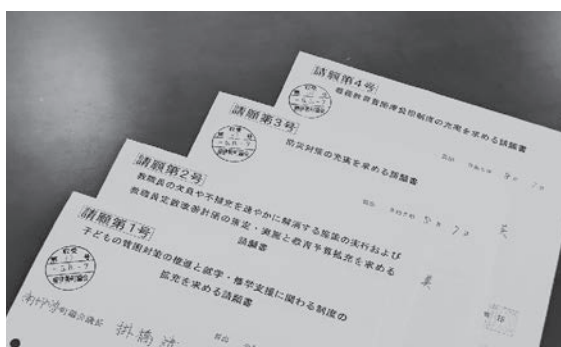
● 町立南伊勢病院所管

令和5年度事業について

令和5年度事業について

各所管の職員に令和5年度の事業について聞き取り調査を行い、費用対効果などの協議を行いました。

8月は教育関連の請願について協議が行われ、9月定例会で教育民生常任委員会の発議として議案に出されました。



委員会 組織構成

委員長 岡本 眞

副委員長 上村 直美

委員 田中喜一郎

掛橋 靖

倉田 育

森 源久

百聞は一見に如かず

被災地から学ぶ震災と復興

いしのまき し おしかぐん おながわちよう
議会議員行政視察研修報告（宮城県石巻市・牡鹿郡女川町）



石巻市立門脇小学校は、宮城県石巻市門脇町にあった公立小学校であり、東日本大震災における適切な避難が評価された学校施設です。
被災した校舎は、津波と津波火災の状況を残している全国唯一の施設として、2022年「石巻市震災遺構」の1つとして整備されました。
震災から12年。震災の記憶の風化が懸念されるなか、議会として改めて震災の教訓を心に刻み未来に生かすため、7月に被災地を訪れました。



施設内には被災車両や実際に使われていた被災仮設住宅も当時のまま展示されています。伝承活動を行っている方から当時の体験を含めて多くの話を聞きました。

■伝えたいこと



■あの時、何が…

女川町では震災時の被災状況とその後の復旧や避難所運営についてを聞き、災害に対する備えの大切さについて学びました。その後、現地の復興状況を視察しました。



復興支援の大切さ
当町に漁業事業も協力頂いている「フィッシャーマンジャパン」さんから、石巻魚市場にて漁業者の育成・PRや販売・環境整備事業等の説明を受け、加工場を視察しました。
被災後に地場産業を存続していくために何をしてきたかを聞き、12年経った今を見せて頂きました。

■復興支援の大切さ



みんなでやつとるで～



＊ ＊ フラダンス教室(南島プルメリア) ＊ ＊

- ハワイの曲にのってフラダンスを踊り、リフレッシュをしましょう。
- 年齢に関係なく誰でも気楽に始められます。
- 敬老会などに参加させてもらって、楽しんでいます。
- 毎月第2、第4火曜日、午後1時30分～午後3時
第二公民館（贄浦）



町村議会 広報研修会

去る9月26日に広報委員5名で全国議長会主催の広報研修会に参加しました。

この研修で得た知識や技術の成果を活かしてより良い広報誌の制作に努めてまいります。



編集後記

今年の夏は「地球温暖化」という人類がもたらした環境の変化で記録的な猛暑日が続き、各地に集中豪雨や暴風、竜巻などの被害をもたらしました。

来年は、災害のない良い年となるように願うばかりです。

残暑も過ぎ、秋も一段と深まりました。スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋、行楽の秋、芸術の秋など、他にも色々な秋があります。皆さんはどのような秋を楽しんでいますか。私は睡眠の秋が好きです。

議会だよりの編集を担当する私たちは、分かり易く読んで頂ける紙面作りに努力します。

(山本)

議長掛橋靖 議会広報特別委員会

委員長 森源久
副委員長 山本克彦
委員 上田村直
委員 倉岡直美

議会だよりについてのお問い合わせや、議会に関するご意見、ご要望がございましたら議会事務局までご連絡ください。

☎0599(66)1781
FAX0599(66)2164